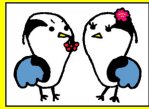


～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り



平成 26 年 9 月 19 日 (NO.32)

浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

## 全国コミュニティ・スクール 研究大会 in 下関

PART2では、CSのこれからについて、話題となっていました。本町でCSを本格的に実施しようとする今、町の現状を踏まえつつも、将来的なビジョンを持ち、あるべき姿が示されました。

# パネルディスカッション PART2

テーマ：「 コミュニティ・スクールの今！ひろがる未来！！ 」

【これからのCS・地域づくり】

～下関市長より～

- ①CSは町づくりとつながっており、町づくり協議会のトップランナーである。
- ②学校教育の充実が地域の活性化につながっていく。
- ③予算措置も大切であるが、並行して、「人づくり」を行っていくことが大切である。
- ④リーダーシップトレーニング等、研修を行い、学習することも大切である。  
行政側もレベルアップしていく必要がある。
- ⑤地域・保護者をいかに巻き込むかが肝である。お任せ民主主義ではなく、かかわる体制づくりを目指す。

～長門市教育委員会教育長～

- ①「学校づくり」は、「地域づくり」である。
- ②子どもたちが次世代の地域を担う。

～三鷹中央学園CS委員会副会長～

- ①教職員が地域・保護者とかがかわるのが面倒という意識の変容が大切。  
今まで出来なかった教育活動が他の力を借りて、成功体験を重ねることで、教職員の意識が変わっていく。
- ②CS開設当時の思いを多くのへバトンタッチ。地域・家庭の役割を示し、学校職員でなければ出来ないことを共有する。

～上越市教育委員会教育長～

- ①学校支援の組み込みと連動
- ②CSを基盤に小中一貫教育と連動

コミュニティ・スクールは  
学校を改善し 家庭の教育力を高め 地域を活性化していく